

総務文教常任委員会行政視察報告書

平成 30 年 1 月 31 日

長谷川幹雄

視察日時 平成 30 年 1 月 17 日(水) 13 時 30 分から
視察場所 奈良県香芝市
視察項目 公共交通(デマンド交通(乗合タクシー))について

調査概要

大阪府に隣接し、通勤圏内であることから人口増加率が全国 3 位とのことであった。私鉄、JR の鉄道があり、両方合わせると 8 駅が市内にあり、交通の便に恵まれた市である。高齢化率が約 21%と低く、面積も 24.23 km²、人口が約 79,000 人という非常にコンパクトな香芝市に於いて、路線バス、コミュニティバスと乗合タクシーがある。住んでみたいまち香芝市として人口増加もうなずける。

感想

路線バスが 2 路線あり、コミュニティバスが 5 路線運航して、バスが乗り入れ困難な地域があることから、乗合タクシーを運行しているとの説明であったが、企画担当者の力量に感心しきりであった。説明では、コミュニティバスが運賃 100 円、乗合タクシーが 200 円と言われ、当初 300 円を想定していたが、市民の要望により 200 円に下げたとの事で、どこまでも市民目線での取り組みに担当者の頑張りに頭が下がりました。

事業費もコミュニティバスが約 4,000 万円、乗合タクシーが委託料とシステム利用費含めて 4,200 万円、合計 8,200 万円でありこれが事業費の上限としている。この範囲でいかにして住民のニーズに答えていくかが課題であると言われていた。加東市は、面積が 6 倍近く、人口が半分近いので、比較対象には無理があるが恵まれた市に於いて、議会も行政も取り組みに積極的である。

我が加東市は、はたしてここまで力を入れて取り組まれているのか、公共交通網形成計画が策定されているにも関わらず、先が見えてこないのはなぜであろうか、と感じた視察であった。

市内に拠点を作り、拠点と拠点を結ぶ運行を計画していると言われていわれるが、なかなか拠点が見えないし、独自性がない、積極性がない、発想に乏しいと思う。空気を運ぶバスであるから運行しないではなく、なぜ乗らないのかを考えての取り組みであり、持続可能な運行にはどうすればいいのか、知恵を出し合いながら、素晴らしい運行形態を期待し、今後も早期取り組みを要望していかなくてはならない。早期に我が市も試験運行まで進めるべきである。

よく自己負担、自己負担といわれるが今後、安定して持続可能な運営・運行するのであれば運賃は安く設定し、市民の方にも税金として負担をお願いする。その点も考慮しながら進めていく必要があるのではないだろうか。

平成30年1月23日

香芝市視察報告について

藤浦 巧

研修日 平成30年1月17日

場 所 奈良県香芝市

(報告内容)

地域公共交通の先進地である香芝市を視察致しました。

香芝市は加東市の約2倍の人口 8 万人規模の自治体であり、交通網としては近鉄、JR の駅が 5、6 か所あり、我々からすると非常に便利な町のように思えた。

また、高齢化率も低くなぜ公共交通に積極的に取り組まれているのか疑問に感じるどころです。しかし、香芝市は大阪のベッドタウンとして発展してきた歴史があり、当初に開発された地域では高齢化が進み、また、近隣には商店もない地域があるなど、地域格差があるようです。そこで実施されているのが、都市化しているところはコミュニティバスを運行し、その他の市域には予約制の乗り合いタクシーを運行している。

費用面ではおのおの 4 千万円、あわせて 8 千万円程度かかっているとのことである。コミュニティバスでは通勤時間帯などには満車になるとのことである。

乗り合いタクシーについても 7、8 台で運営しているとのことと利用も多いとのことであった。加東市も一度視察いただき、出来るならばこの方式を取り入れていただきたい。

「29年度総務文教常任委員会政務調査」

委員 長谷川勝己

視察実施日 平成30年1月17日

視察先 <香芝市>

視察目的 公共交通(デマンド交通、コミュニティバスの取り組み)

内 容

デマンド交通

以前から市役所、総合福祉センター(お風呂あり)利用者のための無料送迎バスがあったが、利用者の皆さんから、公共バスの利用について、たくさんの意見や要望があったため平成22年より「香芝市地域公共交通活性化協議会」を設置し新たな地域公共交通について検討を始めた。

その後、23年4月に香芝市の現状や市内移動に関するアンケートを実施し問題点や課題を整理した。

新たな公共交通の基本方針として。

①高齢者等の日常生活に必要な移動手段の確保。

- 1、自宅等からなるべく近い距離で公共交通を利用することができる。
- 2、行きたい所までスムーズに行くことができるシステムを構築する。

②地域の特性に応じた手法選択による均等な移動機会の確保。

- 1、行きたいという気持ちがありながら行くことを諦めている人の移動を支援する。
- 2、居住地域に関わらず、行きたい所へ移動する機会が公平に得られるサービスを目指す。

③サービスを向上させつつ行政負担を抑えて事業の持続性を確保。

行政コストを現状か、それ以下にすることを前提とし提供するサービスに応じた適切な利用者負担を求める。

これらの方針の下、平成27年4月1日から市内全域にデマンド交通を本格的に導入した。

運行日は平日(土、日、祝、年末年始を除く)とし運行時間は午前9時～午後4時30分。

予約受付は、乗車の1週間前から30分前までに電話等により受付。

乗降場所は、利用者の自宅付近から283か所の共通乗降場所を設定している。

車両は、乗用車タイプが8台、11人乗りが1台。

全車、乗り合いで1乗車200円である。(小学生100円、小学生以下は無料)

運行費用は市が約4,100万円を負担している。

その内、委託しているタクシー業者に3,804万円とデマンド交通システム使用料264万円を支払っている。

一年間の運行日数は(平成28年10月1日～平成29年9月30日)243日。

利用者数は44,016人であり、一日平均181人、利用者の年齢は、70代以上が72,8%であるが、午前中の予約が集中しているため取りにくくなっているとの事であった。

コミュニティバス

平成28年10月から運行しているがデマンド交通と平行運行による財政面の課題やバス有償化（1乗車100円）に伴う利用者の変化を検証している。

市の財政負担はデマンド交通と同額程度との事であったが、これ以上は増額しない方針である。

また利用状況を見極め、常に利用状況に沿った運行をめざしている。

（5路線ルート）

所 感

香芝市の公共交通に対する取り組みは、問題点や課題を充分整理し、アンケートなどを実施しながら市民の意見を大いに取り込み、市民誰もが公平なサービスを受けることができる素晴らしいものであった。

また、香芝市地域公共交通活性化協議会の委員に奈良県タクシー協会や市内のタクシー部会の代表者に意見を聞き運行の取り組み等について協議をし、民業を圧迫しないように配慮されていた。

また、コミュニティバスの路線についても奈良交通と充分、協議をし理解を得ておられた。説明された市の職員も、自信に溢れていたようであった。

視察報告書

磯貝邦夫

平成 30 年 1 月 22 日

香芝市の人口は約 79,000 人、面積は 24.23 平方 Km²。加東市から比較すると約 6 分の 1 でありこの市では近鉄、JR の 2 本の鉄軌道が走っており 30 分程度で大阪市内へ通勤できまさにベッドタウンとして人口も増え続けている市である。

市内には 5 の駅が有るとともに奈良交通のバスも運行している。

このような公共交通が充実している市にあつて平成 25 年 10 月 1 日にデマンド交通の運行の実証運行を開始し 2 年足らずの短期間(平成 27 年 7 月 1 日)で本格運行を実施に至っていることに驚きと称賛を覚えた次第である

このような企画をした経緯(要因)についてはバスを運行することが困難な地域が数多く存在しており、そういった地域の住民の足を確保するためデマンド交通の運行を開始したとの説明がありました。(交通政策基本法での自治体の責務)

加東市の現状との違いを痛感せざるを得ませんでした。(文言(プラン)はあつても実行 (do) 形がいまだに見えてこないのが現状であり病院に行く、買い物に行く等々住みやすいまち加東からかけ離れているこの状況を変えていく議会としての役割を痛感した次第です。

デマンド交通とは人が乗りものに合わせるのではなく乗り物

が人にあわせるものであり事前予約し、他の方と乗り合いながら、希望に合わせた時間で運行するものであり自宅付近からあらかじめ設定した目的地まで移動ができるものとの説明を受け改めて加東市にとっては急務の課題であると痛感した次第である

このような成果を上げられたのは行政(市長)議会、住民が一体となつてのことであり特に旗振り役トップの熱意が必要と感じたことも付け加えて報告いたします

総務文教常任委員会 行政視察報告書

安田 朗

■ 視察実施日

平成30年1月17日

■ 視察先及び調査項目

奈良県香芝市における公共交通（デマンド交通）

■ 香芝市及び調査の概要

大阪府と接し、JR、私鉄の電車が市内に通っており、大阪等の商業圏に通勤圏内であるという立地条件のよさで、人口増加率は全国3位である。市の面積は24,23km²で、コンパクトなまちに7万9,000人という人口動態である。

従来より公共バスを運行していたが、バスの運行が困難な地域が多く存在していることからデマンド交通（乗合タクシー）を導入し、完全予約型で片道200円の利用者負担という形態で平成27年4月1日から運行開始している。

約280施設の共通乗降場所を設置し、8台のタクシーの乗り合い型で年間の利用者は、44,016人で平均約181人の利用がある。4,200万円の経常補填費は市が負担している。

■ 所感

加東市の約6分の1の面積である香芝市はコンパクトなまちで、65歳以上の高齢化率は21,6%と大変低く活気のあるまちであると感じた。当初、電車が2本も通っていてコミバスの運行もあって何故デマンドのタクシーが必要なのか少し疑問であった。

現在の香芝市は、新興住宅の開発が山の傾斜地を中心に行われ、街の中心にある商業施設や行政施設に不便であったため、住民の強い要望でデマンドタクシーを導入したと聞き、健康のため日々の外出を促進するにはいいことと思った。

香芝市のデマンド交通・コミュニティバスの市の費用負担は、約4,200万円と4,000万円を公共交通に約8,200万円を年間支出は地域公共交通活性化協議会も行政も上限であるとの認識でした。

加東市の公共交通は移動距離も大きくバスの利便性が大変悪い地域を抱えている現状で、現行の自主運行バス、路線バスとデマンド型タクシー等をどのように組み入れていくのか早急な検討をすべき時である。

また同時に、人口4万人のまちにどの程度の予算が適当であるかも検討されるべきと考える。

香芝市公共交通視察報告書

平成 30 年 1 月 31 日

総務文教常任委員会

委員 大畑一千代

視察日時 平成 30 年 1 月 17 日 午後 1 時 30 分から
場 所 香芝市役所 5 階 委員会室

香芝市（H3.10 市制施行）の概況

人口（H29.3.31） 79,023 人（S60.3.31 42,828 人）
世帯数 30,557 （ ” 11,619 ）
面積 24.23 km²（うち市街化区域 12.428 km²）

平成 29 年度一般会計予算概要の比較

単位：千円

	奈良県 香芝市	加東市	対比 %
市 税	9,106,062	6,523,094	72
地方交付税	4,094,000	3,750,000	92
国庫支出金	3,617,685	1,909,076	53
県支出金	1,474,603	1,463,546	99
市 債	2,133,000	2,561,500	120
その他	6,804,650	3,145,784	46
歳 入 計	23,930,000	19,353,000	81
議会費	233,681	163,544	70
総務費	2,271,432	2,197,407	97
民生費	9,280,900	6,291,751	68
衛生費	1,857,600	1,556,416	84
農林商工費	236,447	1,233,325	522
土木費	2,307,460	2,752,393	119
消防費	895,884	960,466	107
教育費	2,944,556	2,214,224	75
公債費	3,727,000	1,933,374	52
その他	175,040	50,000	29
歳 出 計	23,930,000	19,353,000	81

香芝市の公共交通の概要

JR 和歌山線・近鉄大阪線・近鉄南大阪線・・・8つの駅

「大阪府に隣接する地理的要因から、市内には古街道が多く、現在は西名阪自動車道をはじめ、国道165号・168号の2路線が通り、平成24年3月には中和幹線（香芝市～桜井市間）が開通しました。また、JR和歌山線、近鉄大阪線・南大阪線の鉄道が縦横に走り、市内に8駅を有することにより、通勤・通学の交通条件にも恵まれています。」
(香芝市「議会概要」より)

路線バス

奈良交通

2路線（市南東部真美ヶ丘方面・市北部白鳳台方面）

コミュニティバス

香芝市が事業主体で、運行を奈良交通に委託。市内の公共施設や団地を5路線で1日5便から6便運行しており、運賃100円（小学生以下50円）均一年間委託費は約4000万円。

デマンド交通（乗合タクシー）

利用登録をした市民が、希望の時刻を予約センターに乗車希望日の1週間前から当日30分前までに申し込み、自宅（付近）及び市内約280の共通乗車場所まで送迎するもの。運行はタクシー事業者に委託。運賃は1乗車200円。事業費は委託料3800万円とシステム利用料264万円。

感想

- ① 市の面積は加東市の6分の1以下、人口は約2倍。非常にコンパクトで交通の便に恵まれている。その上に乗合タクシーまで運行する必要があるのか、少々疑問。
- ② コミュニティバスも奈良交通が路線バスとして運行するほうが便利なのは。（コミバスの始発はもっとも早い路線で8時16分。遅い路線は9時43分。タクシーなどの民業を圧迫しないためとのこと。）
- ③ 加東市において同じような事業を展開するのにどれほどの費用がかかるか。市の状況があまりにも違いすぎて参考にならない。

以上、報告します。